

光星
甲子園だより

「最高だ」。18日の甲子園練習で憧れの聖地に立ち、そつ思った。サインの中では最も小柄だが、確実な打撃と堅実な守備で存在感を示す。

さわなみ **澤波** やまと **大和外野手(3年)**



復活の一打へ闘志

昨秋の東北大会ではスタメンだったが、神宮大会直前の練習試合で右膝半月板を負傷。「焦らずしっかり治せ」との仲井監督の言葉を守り、今年1月の手術を経てベンチ入りを果たした。「打席に立ったら、どんな形でも塁に出てみせる」と頼もしい。復活の一打を見据え、静かに闘志を燃やしている。

(奈良県・平群中出身、160センチ、62キロ、左投げ左打ち)